MOMENTIVE™

# 製品安全データシート

## ME35(A)

バージョン 0.2 発行日 07/29/2011
改訂日 03/11/2013 000000013926

## 1. 化学物質等および会社情報

| | | |
|---|---|---|
| 商品名 | : | ME35(A) |
| 化学物質等のコード | : | 000000013926 |
| 会社名 | : | モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社 |
| 住所 | : | 群馬県太田市西新町133番地 |
| 担当部門 | : | 製品安全管理本部 |
| 作成者 | : | 製品安全担当 |
| 電話番号 | : | 0276-31-1468 |
| ＦＡＸ番号 | : | 0276-31-3061 |
| 緊急連絡先 | : | 製品安全管理本部 |
| | : | 電話番号 0276-31-1468 |
| | : | 夜間・休日 0276-31-4118 |
| | : | ＦＡＸ番号 0276-31-3061 |

## 2. 危険有害性の要約

**ＧＨＳ分類:**
火薬類; 区分外
可燃性/引火性の高いガス。; 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール。; 分類対象外
支燃性/酸化性ガス; 分類対象外
高圧ガス; 分類対象外
引火性液体; 区分2
可燃性固体。; 分類対象外
自己反応性化学品; 区分外
自然発火性液体; 区分外
自然発火性固体; 分類対象外
自己発熱性化学品; 区分外
水反応可燃性化学品; 区分外
酸化性液体; 区分外
酸化性固体; 分類対象外
有機過酸化物; 区分外
金属腐食性物質; 分類できない
急性毒性; 分類できない; 経口
急性毒性; 分類できない; 経皮
急性毒性; 分類対象外; 吸入－ガス
急性毒性; 区分外; 吸入 - 蒸気
急性毒性; 分類できない; 吸入－粉じん及びミスト
皮膚腐食性/刺激性; 区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性; 区分2A
呼吸器感作性; 分類できない
皮膚感作性; 分類できない
生殖細胞変異原性; 分類できない

発がん性; 区分2
生殖毒性; 区分1A
特定標的臓器毒性（単回暴露）; 区分1; 呼吸器系，肝臓，中枢神経系，腎臓
特定標的臓器毒性（反復暴露）; 区分1; 呼吸器系，神経系
特定標的臓器毒性（反復暴露）; 区分2; 中枢神経系，腎臓，肝臓
吸引性呼吸器有害性; 分類できない
水生環境急性有害性; 区分2
水生環境慢性有害性; 区分3

**GHS-ラベリング**:

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体および蒸気。
皮膚刺激。
強い眼刺激。
発がんのおそれの疑い。
生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
臓器の障害。
長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害。
水生生物に毒性。
長期的影響により水生生物に有害。

**注意書き**:

注意書き - 予防 : 熱/火花/裸火/高温表面のような着火源から遠ざけること。－禁煙。 容器を密閉しておくこと。 導電性容器を接地すること/ボンディングすること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。取扱い後はよく洗うこと。使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。指定された個人用保護具を使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。

注意書き - 対応 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 暴露した場合：医師に連絡すること。 特別な治療が必要である。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 火災の場合：消火に泡消火剤・粉末消火

剤・二酸化炭素消火剤を使用すること。

注意書き - 保管 : 換気の良いところで保管すること。 涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。

注意書き - 廃棄 : 内容物/容器は、国際、国、都道府県、又は市町村の規則（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）など）に従って処分する。

## 3．組成、成分情報

**化学物質/混合物**
混合物
**化学的性質**
シリコーンレジンのキシレン溶液

### 危険有害成分

| 化学名 | CAS登録番号 | 化審法 | KECI番号 | 濃度 % |
|---|---|---|---|---|
| キシレン | 1330-20-7 | (3)-3 | KE-35427/97-1-275 | 23 |
| エチルベンゼン | 100-41-4 | (3)-28 | KE-13532 | 18 |
| トルエン | 108-88-3 | (3)-2 | KE-33936/97-1-298 | 6.8 |

**労働安全衛生法**

| 化学名 | 政令番号 |
|---|---|
| キシレン | 136 |
| エチルベンゼン | 70 |
| トルエン | 407 |

**特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律**

| 化学名 | クラス(Class) | 番号 | RQ | 濃度限度 | 濃度 |
|---|---|---|---|---|---|
| キシレン | クラス1 | 80 | 1 t | | 23 % |
| エチルベンゼン | クラス1 | 53 | 1 t | | 18 % |
| トルエン | クラス1 | 300 | 1 t | | 6.8 % |

## 4．応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動し安静にする。 医師の手当てを受ける。

| | | |
|---|---|---|
| 皮膚に付着した場合 | : | 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。ただちに皮膚を石鹸と水で洗浄する。 医師の手当てを受ける。 |
| 目に入った場合 | : | 接触した場合、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間目を洗い流す。 医師の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 ただちに医師の手当てを受ける。 |

## 5．火災時の措置

| | | |
|---|---|---|
| 適切な消火剤 | : | 泡、二酸化炭素または粉末消火剤で消火する。 |
| 火災時の特定有害危険性 | : | 蒸気は空気より重いので、地面に沿って広がり着火源に近づくいていくことがある。蒸気は空気と爆発性混合物を生成することがある。 |
| 特定の消火方法 | : | 火元への燃焼源を断ち、上記の消火剤を使用して消火する。また延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク・建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。 |
| 消火を行う者の保護 | : | 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。 |

## 6．漏出時の措置

| | | |
|---|---|---|
| 人体に対する予防措置、保護具および応急処置 | : | 風下の人を退避させる。周辺への人の立ち入りを禁止する。<br>付近の着火源となるものを取り除く。<br>作業の際には必ず保護具を着用する。作業は風上により行う。 |
| 環境に対する予防措置 | : | 下水溝、水路または地面に侵入しないようにする。 |
| 除去方法 | : | 大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。 |
| 二次災害の防止策 | : | 着火源を除去する。 適切な換気を行う。 |

## 7．取扱いおよび保管上の注意

**取扱い**

| | | |
|---|---|---|
| 安全取扱い注意事項 | : | 適切な保護具を着用する。 着火源から離して保管する―禁煙。この製品は引火性があり、加熱によって蒸気と空気との爆発性 |

混合気を生成することがある。 加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。 ガス、ヒュームまたは蒸気を吸入しないこと。 皮膚および眼との接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。

火災および爆発防護に関するアドバイス : 適切な全体換気・局所排気装置を設置する。 物質は静電気に帯電しやすく、放電を起こすことがある（発火源）。適切なボンディングおよび/または接地を行うこと。

**保管**

保管場所および容器の必要条件 : 熱源,直射日光および強い光を避け、屋内冷暗所に密閉して保管する。 容器を換気のよい場所に保管する。

## 8．暴露防止および保護措置

**仕事場管理パラメーター付き構成要素**

| 成分 | 管理パラメータ |
|---|---|
| トルエン | JPISHL OEL; 更新: 04 2009; 管理濃度 20 ppm<br>JPJSOH OEL; 更新: 04 2007; 許容濃度 50 ppm 皮膚表示 ; 皮を通って吸収する可能性がある。<br><br>ACGIH; 更新: 01 2010; TWA 20 ppm |
| キシレン | JPISHL OEL; 更新: 08 2006; 管理濃度 50 ppm<br>JPJSOH OEL; 更新: 04 2007; 許容濃度 50 ppm<br>ACGIH; 更新: 01 2010; TWA 100 ppm<br>ACGIH; 更新: 01 2010; STEL 150 ppm |
| エチルベンゼン | JPJSOH OEL; 更新: 04 2007; 許容濃度 50 ppm<br>ACGIH; 更新: 01 2010; TWA 100 ppm<br>ACGIH; 更新: 01 2010; STEL 125 ppm |

**設備対策**

適切な全体換気・局所排気装置を設置する。
洗眼設備および安全シャワーを設置する。

**保護具（PPE）**

呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク

手の保護具 : アドバイス: 耐化学性手袋

目の保護具 : 安全ゴーグル

| | | |
|---|---|---|
| 皮膚及び身体の保護具 | : | 耐化学性衣服<br>ゴム長靴着用。 |
| 適切な衛生対策 | : | 飲食物、動物用飼料から離して保管する。<br>取り扱った後、手を洗うこと。<br>取扱中は飲食禁止および禁煙。 |
| 保護措置 | : | 皮膚に触れないようにする。 |

## 9．物理的および化学的性質

**外観**

| | | |
|---|---|---|
| 形状 | : | 液体 |
| 色 | : | 淡白色微濁 |
| 臭い | : | 溶剤臭 |

**安全性データ**

| | | |
|---|---|---|
| 融点 | : | データなし |
| 沸点/沸点範囲 | : | 110.6 ℃ |
| 引火点 | : | 19 ℃ |
| 自然発火温度 | : | 450 ℃ |
| 密度 | : | 0.98 g/cm3 @ 25 ℃ |

## 10．安定性および反応性

| | | |
|---|---|---|
| 避けるべき条件 | : | 熱、火花、裸火から離しておく。<br>静電気および火花の発生を防止する。 |
| 混触危険物質 | : | 強酸・強アルカリの接触により、重合あるいは分解がおこる。 |
| 詳しい情報 | : | 引火性<br>可燃性 |
| 危険有害な分解生成物 | : | 一酸化炭素、二酸化炭素、二酸化ケイ素。 本製品は、酸素を含む大気中において、おおよそ150℃（300 ° F）以上でホルムアルデヒドを発生する可能性のあるメチルポリシロキサンを含有している。 ホルムアルデヒドは皮膚および呼吸器への感作性があり、眼および喉の刺激、急性毒性および癌を発生させ |

る可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性経口毒性 : LD50 ラット
投与量: 4,300 mg/kg
被験物質: キシレン

: LD50 ラット
投与量: 3,500 mg/kg
被験物質: エチルベンゼン

: LD50 ラット
投与量: 5,000 mg/kg
被験物質: トルエン

急性吸入毒性 : LC50 ラット
結果: 5,000 ppm/4Hで
被験物質: キシレン

: LCLo ラット
結果: 4,000 ppm/4H
被験物質: エチルベンゼン

急性経皮毒性 : LD50 ウサギ
投与量: 17,800μL/kg
被験物質: エチルベンゼン

皮膚への刺激 : ウサギ
結果: わずかに刺激性がある。
方法: 500 mg/24H
被験物質:キシレン

: ウサギ
結果: 皮膚を刺激する。
方法: 15 mg/24H open
被験物質: エチルベンゼン

目への刺激 : ウサギ
結果: 強い刺激性。
方法: 5 mg/24H
被験物質: キシレン

: ウサギ
結果: 強い刺激性。
方法: 500 mg
被験物質: エチルベンゼン

感作性 : データなし

## 12. 環境影響情報

本品についての環境影響データはない。

**残留性、分解性**

残留性 / 分解性 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

製品 : 本製品は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類される。本法および地域の条例に基づいて廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

**Japan Dangerous Goods Regulatory Information:**

消防法危険物 第四類 第１石油類，火気厳禁

**海上輸送**

| | | |
|---|---|---|
| IMDG: | 国連番号 | 1993 |
| | クラス(Class) | 3 |
| | PG (Packing group) | II |
| | IMDGラベル | 3 |
| | EmS | 3-07 |
| | 容器表示(Proper shipping name) | Flammable liquid, n.o.s. |
| | 内容物 | トルエン<br>kisirenn |

**航空輸送**

| | | |
|---|---|---|
| ICAO/IATA: | 国連番号 | 1993 |
| | クラス(Class) | 3 |
| | PG (Packing group) | II |
| | ICAOラベル | 3 |
| | 容器表示(Proper shipping name) | Flammable liquid, n.o.s. |
| | 内容物 | トルエン<br>キシレン |

詳しい情報 : 高引火性

眼を刺激する。
飲食物や動物用飼料から離して保管する。
臭気に敏感な材料から離して保管する。

## 15．適用法令

**目録**

| | |
|---|---|
| Australia Inventory of Chemical Substances (AICS) | y（ポジティブ［正の］リスティング） |
| 既存化学物質一覧 (EU) | y（ポジティブ［正の］リスティング） |
| Japan Inventory of Existing & New Chemical Substances (ENCS) | y（ポジティブ［正の］リスティング） |
| 中国現有化学物質名録 | y（ポジティブ［正の］リスティング） |
| 韓国有害物質管理法 既存物質リスト | y（ポジティブ［正の］リスティング） |
| Canada DSL Inventory | y（ポジティブ［正の］リスティング） |
| Canada NDSL Inventory | n（ネガティブ［負の］リスティング） |
| Philipines Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS) | y（ポジティブ［正の］リスティング） |
| 毒性物質管理条例 | y（ポジティブ［正の］リスティング） TSCA インベントリに記載 |

少量規制や特別例と記述がある場合には、モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社までご連絡下さい。

国内法

: 消防法危険物 第四類 第１石油類
日本 労働安全衛生法 (ISHL) クラス 2 有機溶剤

**化学物質排出把握管理促進法（化管法）、新規指定化学物質（平成20年政令第356号）:**

**特定第一種指定化学物質:** : 該当しない
**第一種指定化学物質:** : トルエン (政令番号 300), キシレン (政令番号 80), エチルベンゼン(政令番号 53)
**第二種指定化学物質:** : 該当しない

**労働安全衛生法:**

**通知対象物質(第５７条の２):** キシレン，エチルベンゼン，トルエン

**表示対象物質(第５７条):** キシレン，エチルベンゼン,トルエン

**毒物及び劇物取締法:**

**特定毒物:**

**法:** : 該当しない
**政令:** : 該当しない

**政令:** : 該当しない

**毒物:**
**法:** : 該当しない
**政令:** : 該当しない

**劇物:**
**法:** : 該当しない
**政令:** : 該当しない

**高圧ガス保安法:**
**高圧ガス、第２条:** 該当しない
**化審法:**
**優先評価化学物質** : トルエン, キシレン,エチルベンゼン

**船舶安全法** : 国内法に従う

**海洋汚染防止法:** トルエン,キシレン, エチルベンゼン

## 16．その他の情報

| | | |
|---|---|---|
| 文献 | : | ACGIH 化学物質のTLV<br>化学品安全管理データブック（化学工業日報） |
| 注意事項 | : | 本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合には、貴社においてその安全性を事前に、ご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。 |
| その他の注意事項 | : | その他（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成していますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合にはその用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。<br>ここに示された物理特性値やその他の値はこの製品の目標値でして、必ずしも保証値ではありません。 |

**詳しい情報**

**記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。 記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。**